

《著者紹介》

渡邊大門（わたなべ・だいもん）

1967年 神奈川県生まれ。

佛教大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。

現在 株式会社歴史と文化の研究所代表取締役。

著書 『中世後期山名氏の研究』 日本史史料研究会、2009年。

『戦国期赤松氏の研究』 岩田書院、2010年。

『戦国期浦上氏・宇喜多氏と地域権力』 岩田書院、2011年。

『中世後期の赤松氏——政治・史料・文化の視点から』 日本史史料研究会、2011年。

『宇喜多直家・秀家——西国進発の魁とならん』 ミネルヴァ書房、2011年。

『備前浦上氏』 戎光祥出版、2012年。

『赤松氏五代——弓矢取って無双の勇士あり』 ミネルヴァ書房、2012年。

『戦国・織豊期赤松氏の権力構造』 岩田書院、2014年。

『山陰・山陽の戦国史——毛利・宇喜多氏の台頭と銀山の争奪』 ミネルヴァ書房、2019年。

『嘉吉の乱——室町幕府を変えた将軍暗殺』 ちくま新書、2022年、ほか。